

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。  
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいにあります。

## 秋吉台

## さわやかな緑の風

ずい分と緑濃くなった秋吉台です。白い石灰岩とのコントラストもちょうど良い頃でしょう。遠くから台上を見ると、長者ヶ森が丸い緑のボールのようにも見えます。

その手前を通るカルストロードをバイクやスポーツカーが走ります。その音は聞こえませんが、緑の空気を切っていくのはきっと心地よいことでしょう。

梅雨の前の秋吉台の散策。さわやかな緑の風に吹かれながら、自然を感じてはいかがでしょうか。



## 季節の花

## 「痛いッ」と思ったらコイツです!!

**シラン** 家庭の花壇などにもよく植えられている花です。紅紫色の花だけではなく、白花や葉に覆輪、縞模様が入った品種もあります。丈夫で多少の環境の変化にも耐えられます。台上では数ヶ所で見られますが、極端に増えたり減ったりはないようです。

**メリケントキンソウ** 草抜きをしていると急に「痛いッ」と思ったらコイツでした。小さくて花が咲いているのかどうかも分からないくらい地味なのですが、タネができると茶褐色になります。どこかに鋭いトゲがあるのでしょうか、まだ見つけられません。

**スイカズラ** 筒状の花を抜いて舐めると甘いので、子どもたちがこれを吸って遊んだことによる命名。他にも、冬でも葉が枯れずに残っていることから忍冬の別名もあります。花を集めてホワイトリカーに漬け込むと甘い香りのフラワー酒ができます。



## 観察会「カエルが待っている」(5月3日)

～声はすれども姿はみえず～

カエルの観察会を行いました。天候は、少し動けば汗がにじむほどの良い陽気でした。子どもたちは手に網を持ってカエル探しです。鳴き声は聞こえるのですが、そこに近寄ると鳴き声をひそめてしまいます。それでも、ここぞと思う所へ網を差し入れてすくい上げます。何度もやってようやくカエルが入っていると「やったー」と声が上がります。この日はニホンヒキガエルやトノサマガエル、それにアカハライモリを合わせると8種類を見つけて観察することができました。



## ヤマボウシ(山法師)

遠くからでも良く見えます

遠くからでも白い花が咲いているように見えますが、それは総苞片といわれるもので、花はそのほぼ中央に小さなものが球状にまとまって咲いています。花が終わるとやがてそれは赤く熟します。クサイチゴの実のように丸く、食用になります。味はというとイチゴというよりもマンゴーのようで美味です。おいしいので野鳥などが好んで食べてしまうのかしれませんが、果実は多くは見られませんでした。



# 6月の行事

- 6月17日(土) 観察会「秋吉台のカタツムリ」  
森の中や石灰岩に住んでいるカタツムリのようなすを観察します。
- 6月18日(日) 観察会「モリアオガエルの観察と卵のレスキュー」  
モリアオガエルの観察と卵のレスキューを行います。
- 6月25日(日) 観察会「森の昆虫教室・カブトムシ」  
野外での昆虫観察とカブトムシの育て方を学びます。